



第24回建設用ロボットに関する技術講習会の開催

テーマ「災害復旧に役立つ建設用ロボットを目指して」

—最新のロボット技術の動向とその可能性について—

開 催 日:平成19年5月24日(木)

申込締切日:平成19年5月11日(金)

行事コード: **7025** 略称: 24回建設用ロボット技術講習会

(社)土木学会建設用ロボット委員会(委員長:神崎 正)では、わが国の建設分野における自動化・ロボット化を推進する活動の一助として、建設用ロボットに関する技術講習会を企画、開催しております。

最近、地震や火山の噴火および洪水など、自然災害が多発しているなか、救助や復旧活動に建設用ロボットの導入が話題として取り上げられてきています。災害直後の厳しい作業環境での工事は、建設用ロボットの果たす役割が確実に大きくなってきていますが、作業環境の厳しさから、限られた工種に導入事例が集中しているのが現状です。

このような状況の中、今回は、災害復旧用ロボット、作業支援ロボット、さらには建設機械制御システムなどについて、先進的な研究や開発を進めておられる方々を講師に迎え、今後、建設用ロボットなどに求められる条件、この分野における技術の進展、導入を阻害する要因または乗り越えなければいけない障壁などについて、ご紹介していただきます。

つきましては、多くの皆様方のご参加を頂きたく、ここにご案内いたします。

記

1. 主 催 : (社)土木学会(建設用ロボット委員会)

2. 日 時 : 平成19年5月24日(木) 9:30~17:20 <9:00 受付開始>

3. 場 所 : (社)土木学会 土木会館 2F 講堂 (東京都新宿区四谷1丁目無番地(外濠公園内)／JR四ツ谷駅下車徒歩3分)

4. プログラム

9:30~ 9:35	開会の挨拶	建設用ロボット委員会 委員長 神崎 正
9:40~11:00	【基調講演】東工大での屋外作業用ロボット開発の現状と未来	東京工業大学 教授 広瀬 茂男
11:00~12:00	建設ロボットによる災害対応事例とその技術	(社)土木学会建設用ロボット委員会土木小委員会
12:00~13:00	昼休み	
13:00~14:00	マシンコントロールおよび最新の GPS 技術	Trimble Navigation co.,ltd Segment Manager Heavy and Highway Arthur Taylor
14:00~15:00	ロボットスーツ「HAL (Hybrid Assistive Limb)」について	筑波大学大学院 教授 山海 嘉之
15:00~15:10	休憩	
15:10~16:10	建設機械のロボット化と社会貢献商品の開発	日立建機(株) 商品開発事業部 開発企画室長 生田 正治
16:10~17:10	実用化に向けたロボット開発 —レスキューロボット・住宅床下点検ロボット—	千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター 副所長 小柳 栄次
17:10~17:20	閉会の挨拶	建設用ロボット委員会 幹事長 酒向 信一

司会者(午前)北原 成郎 (株)熊谷組 (午後)吉田 貴 西松建設(株)

5. 定 員 : 150名

6. テキスト : 第24回建設用ロボットに関する技術講習会テキスト

7. 参 加 費 : 会員: 6,000円、 非会員: 7,000円、 学生: 2,000円

◎申込方法 : 個人会員の方は学会 HP(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>)から Web 申込をいただき、法人会員および非会員の方は行事参加申込書(<http://www.jsce.or.jp/event/active/form.pdf>)を出力し行事コード・行事名等必須事項を記入の上FAXいただければ、10日前後で参加券を郵送致します。

※お申込みをされる前にご送金いただくことはトラブルの原因となりますのでおやめください。

※テキストのみご希望の場合は、行事終了後に出版事業課までお問い合わせください。

参加申込問合せ先 : 事務局研究事業課 今村 玲子 TEL. 03-3355-3559 <mailto:imamura@jsce.or.jp>